

令和 5 年度浄水汚泥収集運搬業務仕様書

この仕様書は、委託者 春日那珂川水道企業団（以下「甲」という。）と受託収集運搬業者（以下「乙」という。）との浄水汚泥収集運搬業務委託に関し必要な事項を定めるものとする。

（業務内容）

第 1 条 乙は、甲の東限浄水場及び埋金浄水場で発生する浄水汚泥を中間処理施設まで適正かつ安定的に収集運搬を行う。また、甲の原町浄水場で発生する液状の浄水汚泥をバキューム車にて東限浄水場内の汚泥脱水処理施設又は埋金浄水場内の天日乾燥施設まで適正かつ安定的に収集運搬を行う。

（委託期間）

第 2 条 この契約の委託期間は、令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日までとする。

（汚泥搬出場所）

第 3 条 浄水汚泥の搬出場所は、次に示すとおりとする。

- （1）東限浄水場：那珂川市東限 1 丁目 9－1
- （2）埋金浄水場：那珂川市大字埋金 8 1 5－1
- （3）原町浄水場：春日市原町 2 丁目 3 8－2

（対象浄水汚泥）

第 4 条 処理の対象となる浄水汚泥は、次に示すとおりとする。

1 東限浄水場で発生する浄水汚泥

- （1）天日乾燥により水分除去を行った浄水汚泥。（無機性汚泥）
加圧脱水機により水分除去を行った浄水汚泥（無機性汚泥）
- （2）浄水汚泥の含水率は、85%以下（天候等により増減する）。
- （3）浄水汚泥の引渡し形状は、バラの状態。ただし、汚泥の状態によっては、液状汚泥の場合もある。
- （4）着水井及び沈殿池等の液状の汚泥を直接バキューム車で吸引依頼する場合もある。その際の運搬先については、その都度協議する。

※詳細については、別紙「分析結果報告書」を参照のこと。

2 埋金浄水場で発生する浄水汚泥

- （1）天日乾燥により水分除去を行った浄水汚泥。（無機性汚泥）
- （2）浄水汚泥の含水率は、85%以下とするが、天候等の影響により 85%以上の場合もある。
- （3）浄水汚泥の引渡し形状は、バラの状態。ただし、汚泥の状態によっては、液状汚泥の場合もある。

※詳細については、別紙「分析結果報告書」を参照のこと。

3 原町浄水場で発生する浄水汚泥

- （1）液状の汚泥。

（浄水汚泥搬出予定回数及び予定量）

第 5 条 浄水場からの年間浄水汚泥搬出予定回数及び予定量は、次に示すとおりとするが、原水の水量及び水質等の状況に応じて変動する。また、搬出は、甲の指示する日に実施するものとする。詳細については、別紙「実績一覧表」を参照のこと。

浄水場名	浄水汚泥種別	搬出予定回数	搬出予定量
東隈浄水場	乾燥汚泥	4 回	5 0, 0 0 0 kg
埋金浄水場	乾燥汚泥 又は液状汚泥	6 回	2 4 0, 0 0 0 kg
原町浄水場	液状汚泥	2 6 回	7 6 8 m ³

(使用車両)

第 6 条 浄水汚泥の運搬にあたっては、乙が産業廃棄物（汚泥）運搬を許可された車両を使用し、汚泥の飛散、臭気の発散及び脱離液の漏洩等の防止措置を講ずること。

(契約単価)

第 7 条 浄水場からの年間浄水汚泥搬出予定回数及び予定量の増減並びに含水率に変動があっても、原則として契約単価の変更は行わないものとする。ただし、経済情勢の変動等による著しい物価変動による場合はこの限りではない。

(搬入予定中間処理施設)

第 8 条 乙は、本業務において浄水汚泥を搬入する予定の中間処理施設をあらかじめ明らかにしなければならない。その際、搬入する予定の中間処理施設は、原則として乙が所有又は契約する中間処理施設の 1 箇所のみとする。

(振替対応)

第 9 条 前条で明らかにした中間処理施設において、定期修繕等で搬入ができない期間に限り他の中間処理施設へ振替搬入することを認めるものとし、その中間処理施設は同様にあらかじめ明らかにしなければならない。ただし、不測の事態により搬入を予定していた中間処理施設が使用不可能となった場合は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（昭和 4 6 年政令第 3 0 0 号）第 6 条の 1 2 に規定する基準に従い、処分等の再委託について甲乙協議を行うものとする。

(現場調査等)

第 1 0 条 甲は、必要があると認めるときは、乙の業務の実施状況について随時現場調査を行い、乙に対して所要の報告、資料の提出及び必要な事項を指示することができるものとする。

(提出書類等)

第 1 1 条 乙は、契約締結後 1 0 日以内に次の各号に掲げる書類を提出しなければならない。

- (1) 産業廃棄物収集運搬業許可書（写）
- (2) 連絡体制表
- (3) 安全管理体制
- (4) その他甲が指示するもの。

(業務終了報告書)

第 1 2 条 乙は、業務終了毎、速やかに業務終了報告書を作成し、甲に提出するものとする。
業務終了報告書には、業務実施日、業務場所、業務内容、マニフェスト交付番号、運搬台数及び汚泥処理量の項目を記載するとともに、現場写真を必ず添付すること。ただし、現場写真を除く項目については、産業廃棄物管理票 B 2 票の写しで代えることができる。
なお、原町浄水場からの運搬については、使用した車両のタンク容量を業務終了報告書に記載すること。

(委託料支払)

第13条 甲が、前条の業務終了報告書を適正と認めた場合、請求書に基づき乙に委託料を支払うものとする。

(法令の遵守)

第14条 本業務を履行するにあたり、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）及び関係法令を遵守しなければならない。

(その他)

第15条 その他必要事項については、甲乙協議のうえ決定するものとする。